

地震工学委員会
平成 25 年度 第 8 回（通算第 162 回）運営幹事会

議事録

日時：平成 26 年 3 月 18 日（火） 16:00～17:30

場所：土木学会 D 会議室

出席者：

小長井（委員長）、澤田（副委員長）、片岡（幹事長）、池田、梶田、佐藤、原田（運営幹事）、佐藤（事務局）

配布資料

幹 162-01	平成 25 年度第 7 回運営幹事会 議事録案
幹 162-02	平成 25 年度予算状況
幹 162-03	地震工学研究発表会会場視察等行程
幹 162-04	新任委員推薦書
幹 162-05	若年層会員の登用促進について（案）
幹 162-06	地震工学委員会小委員会運営要領の変更案
幹 162-07	平成 26 年度第 1 回総会議事次第・資料（案）
幹 162-08	平成 26 年度運営幹事会役割分担表
幹 162-09	年間スケジュール（案）

○議事

（1）前回議事録（案）の確認

片岡幹事長から資料「幹 162-01」に沿って前回議事録案の説明があり、承認された。

（2）報告・審議事項

①予算の状況について（佐藤幹事、事務局）

- ・ 資料では 100 万円弱の残額があるが、うち 30 万円プラスアルファは小委員会で、十数万円は本日の運営幹事会と次週の会場視察等で使用される見込みである。

②地震工学研究発表会会場視察等行程（池田幹事）

- ・ 委員長以下 5 名で会場、河道閉塞の現地等を視察し湯沢砂防事務所を訪問する予定。
- ・ 長岡商工会議所を仮予約中。まちなかキャンパス長岡の方が賃借料が割安かつ無線 LAN サービスが受けられるため、7/1 に予約が取れるように努力する。開催案内は当初は長岡商工会議所（予定、変更の可能性有り）等としておく。

③平成 26 年度新任委員の推薦について（片岡幹事長）

- ・ 小長井委員長より、顧問推薦候補者の 4 名の委員からはいずれも快諾を得たことが改めて報告された。

- ・ 審議の結果、推薦された7名（運営幹事会3名、地震防災技術普及小委員会2名、性能に基づく橋梁の耐震設計法に関する研究小委員会2名）全員が承認された。

④若年層会員の登用促進について（片岡幹事長）

- ・ 総会でご意見をうかがい、来年度は試行を実施、その後改善していく予定。
- ・ 小委員会活動とは切り離した助成金として募集する。
- ・ 新規研究小委員会設立時に、ある割合以上の若年層会員を委員として登用することを義務づける（または努力目標として掲げる）ことを考えてもよい。
- ・ 幹事長が再度案を考え、メールで審議する。

⑤地震工学委員会小委員会運営要領の変更について（片岡幹事長）

- ・ 現行では、小委員会委員長は土木学会員とする、となっているが、土木学会の活動に寄与いただける方に会員資格を求める必要性はなく、地震工学委員会委員長にも会員資格は求められていない。一方、小委員会は地震工学委員会の活動の一環であり、委員長の承認を得た方が小委員会委員長を務めることが望ましい。以上のことから、小委員会委員長は地震工学委員会委員とする、に変更する案で総会に諮る。

⑥平成26年度第1回総会議事次第・資料について（片岡幹事長）

- ・ 議題と資料の準備方針を確認した。活動予算計画は佐藤幹事と事務局にお願いする。
- ・ 地震工学研究発表会に表彰制度を復活させることを審議、または報告する。小長井委員長から小野幹事に論文集編集小委員会での検討を依頼する。
- ・ 強靱化委員会の幹事は小長井委員長から候補者に打診する。

⑦運営幹事会役割分担について（片岡幹事長）

- ・ 清田幹事が来年度海外赴任の関係で運営幹事から外れる可能性が高い。小長井委員長から地震被害調査小委員会の高橋委員長に適任者の推薦を打診する。

⑧年間スケジュールの確認（片岡幹事長）

- ・ 今年度は総会の準備を残すのみとなった。

(3) その他

- ・ 全国大会研究討論会の開催については、小委員会からの応募がなかった。

以上

（議事録作成：片岡）